

# 瀬戸内海国立公園 指定七十周年企画

いよいよ待ちに待った夏。

昭和九年三月十六日、

雲仙、霧島とともに

瀬戸内海国立公園が

初の国立公園として指定されてから

今年はずっと七〇年。

これを契機に、あらためて

瀬戸内海の魅力を見つめ直す行事も

あれこれ企画されています。

この美しい風景を

ドライブでめぐってみましょう。



## 西備方面へドライブ、笠岡諸島へ

大小の島々が飛び石のように連なる笠岡諸島は、島々それぞれの白砂青松の海岸線が私たちの心を癒してくれる、岡山県西部で最も瀬戸内海国立公園らしい風景がパノラミックに展開するエリア。山陽自動車道笠岡ICから神島方面に向かい、その海の魅力を訪ねます。



カブトガニ博物館と恐竜公園

まず訪れた「カブトガニ博物館」は、名前のとおりカブトガニがメインテーマのミュージアム。館内のドーム状の大空間に瀬戸内に生息するカブトガニに関するさまざまな展示があります。また、館に隣接する「恐竜公園」には、七種八体の実物大の精巧な恐竜模型が展示され子どもたちに人気。アスレチック遊具などのある広場とともに無料開放されています。

▼カブトガニ博物館／笠岡市横島194  
6-2 / 0865-67-2477 / 月曜日  
(夏休み期間中は無休 / 9時〜16時30分開  
館 / 入館520円  
<http://www.city.kasaka.okayama.jp/0012/0001.html>

島一周の八十八カ所巡拝で知られる遍路の島、神島はかつて本土と渡し船で結ばれていましたが、昭和四十五年に神島大橋が開通。現在では、笠岡湾干拓も完成し完全な「陸続きの島」になっています。カブトガニ博物館からすぐの神島大橋を渡ると、右側に小さなログハウス風の建物。ここが名店の多い笠岡でもラーメン通が一目おくと評判の「中華そば・みやま」。神島に来た人を美味しいスープで歓迎してくれます。

▼みやま／笠岡市神島橋西詰め / 0865-67-5122 / 不定休 / 11時〜15時、17時〜24時頃まで営業 / 中華そば460円

神島霊場は今から約二五〇年前に笠岡の今田卯兵衛という人が弘法大師の夢告を受け、私財をなげうって開創したものだそう。地図で見ると四国と似た形をしている神島の二十九の道のりに、四国八十八カ所の札所と同じになるよう配した各札所。その本尊の下に卯兵衛が四国の札所より持ち帰った土を埋め、その上に堂を建てたといえます。外浦からやや南西に進んだ三十五番札所清瀧寺の祠からやや歩くと小高い岬の丘の上に三十六番札所の青龍寺(波切不動)。境内には今田卯兵衛の石像が安置されています。

神島外浦港から連絡船で高島に向かいます。車は外浦の波止に停めて、ちよと賢沢に島グルメという目論見です。高島には数件の民宿がありますが今回は和風ペンション「正栄」で、豪快な漁師料理を堪能しました。他に笠岡諸島では白石島の「民宿はらだ」や「さんちゃん」、真鍋島の「三虎旅館」などの海鮮料理が人気です。

▼和風ペンション正栄／笠岡市高島5177 / 0865-67-2291 / 無休 / 営業時間は予約に応じて / 海鮮料理4200円 / 泊2食付8400円 /



和風ペンション正栄の海鮮料理は1人4,200円から3人以上で活造り舟盛仕立てになる(要予約、昼・夜可)



美味しい「みやま」のラーメン



神島外浦港から連絡船で向かうに見える高島までは5分少々で行ける

三十六番札所青龍寺境内から白石島など瀬戸内海の美しい諸島の風景が望めます。

# 玉野周辺から直島へドライブ

岡山を代表するシーサイドエリアといえはやはり玉野市周辺。素晴らしい展望の王子が岳や渋川海水浴場などの風景は、やはり瀬戸内海国立公園中の白眉でしょう。小さなお子様連れのドライブには「おもちゃ王国」や「浜川動物公園」などの楽しいスポットもあつて、一日中楽しめます。

▼おもちゃ王国／玉野市滝／0863714488／火曜休(祝日、GW、春休み、夏休み、冬休み期間中は無休)／10時～17時開園／入園700円  
<http://www.omochakukoku.co.jp>

▼渋川動物公園／玉野市渋川／0863813030／無休／9時～17時開園／入園900円



今日も家族連れでにぎわうおもちゃ王国



動物とのふれあいを楽し、入口で羊がお出迎え



渋川海水浴場は瀬戸内のマリンスポーツのメカ



四国フェリーで直島へ



Cucina di UNO(クッチーナデウノ)は料理家平野寿将さんが総合プロデュースし、昨年十一月にオープンした新感覚のレストラン。イタリア語でCucinaは台所、UNOは一番という意味で、フェリーが行き交う宇野港の景色を眺めながら、潮風と創作グルメが楽しめます。館内は天井が高く、とても開放的です。



宇野港の新しいクッチーナデウノ

瀬戸内ドライブは宇野港からフェリーに乗って直島へ。面積約十四平方km、人口約三六〇〇人のこの島は、近ごろ「芸術の島」として世界の注目を集めています。その中心となるのが現代美術館「直島コンテンポラリーアートミュージアム」。空間を大胆に切り取った安藤忠雄の建築と展示される約五〇点の作品が融合し、また館外の島のあちこちにもアートが配され、美術館と島も一体の存在となった印象です。島の東部にある本村地区の「家プロジェクト」は、古い家屋などを改修し、作家の表現の場とする試み。第一作の「角屋」に続き「南寺」「きんざ」「護王神社」の四作品が公開されています。



予約しておけば、シーサイドのバーベキューコートでこんなグリルランチが楽しめる

このほか直島文化村にはホテルなどの宿泊施設もあり、直島国際キャンプ場では、モンゴルのパオ型テントとドイツの家型テントに泊まれるほか、シーサイドテラスで軽食やバーベキュー(一日前までに要予約)を楽しむこともできます。あれこれ海とアートを満喫する休日が過ごせそうです。

▼食事予約も直島文化村へ(受付9時～21時)／バーベキューは牛肉コース、豚肉・鶏肉コース、シーフードコースがありそれぞれ一人前2625円(入材料・美術館入館料含む)



南国ムード漂う直島文化村



島の神社もアートになる「家プロジェクト」



モンゴル式のテントの宿泊もOK



民家がまるごと芸術になる「角屋」



ホテルも併設する現代美術館

# 瀬戸大橋から香川東部のシーサイドエリアへ

島々をのぞいては岡山県の最南端の岬鷺羽山。標高二三三mの秀峰から望むと、眼下に松島、六口島などの備讃瀬戸の島々が散らばり、瀬戸大橋が結ぶ対岸には四国連山。東に小豆島、西に笠岡諸島までが視野におさまり、瀬戸内の多島美をまさに一望できます。近くの「鷺羽山ハイランド」は、西日本初のウルトラツイスターなどスリリングなアトラクションが集まる若者たちに人気のスポット。小さなお子様連れの家族にも終日楽しめます。さあ、大橋をわたって四国路をドライブです。

▼鷺羽山ハイランド／倉敷市下津井吹上／086-473-5111／無休／入園・中学生以上2500円など／9時～18時（夏休み期間などはナイターあり、冬期は17時まで）<http://www.w-highland.co.jp/>



鷺羽山からの瀬戸内の風景は「天下の絶景」と評され、多くの人たちに賞賛されています



下津井瀬戸大橋を渡っていき、瀬戸内ロングドライブへ。四国路で何を遊ぼうか



入園すると乗り物は無料で乗り放題。夏はプール・インラインスケートも無料の鷺羽山ハイランド



ドライブのフットワークは新プリウスで。環境・瀬戸内時代にふさわしいエコカーです。



橋を渡ると、ほんとに願いが叶う…。近くには小さな子供たちの喜ぶすべり台やブランコのある児童公園も



まさに「白砂青松」という言葉がふさわしい津田の松原。海水浴場やクアハウスで一日のんびりと

▼津田の松原／さぬき市津田町津田／散策自由

まず瀬戸中央自動車道から高松道を経由し津田・寒川ICを下車して約二で津田の松原へ。紺碧の海、白い砂浜、そして緑輝く松林のコントラストが絵に書いたように美しい海岸です。緩やかな弧を描きながらのびる砂浜は、「日本の渚・百選」にも指定され、夏には、海水浴やマリンスポーツのメッカとなります。松原の中を流れる梅川にかかる朱塗りの橋は、行くときは「願いの橋」。帰るときは「叶え橋」の二つの名前を持つ橋。恋人たちが手をつなぎあつて渡る姿もほほえましいものです。



香川県内産初の本格的なワイン「さぬきワイン」を醸造・販売するさぬきワイナリー。試飲もできる

入園自由

▼大串自然公園／さぬき市鴨庄／087-894-1114（さぬき市商工観光課）

津田町から海岸線を通ってさぬき市志度方面へ。瀬戸内海に突き出した大串半島は、知る人ぞ知る屈指の景勝地。一帯は絵面積一〇〇haの自然公園として整備され、テニスコートや芝生広場、日本最大級規模の野外音楽広場などのほかに、四国初のワイン工場「さぬきワイナリー」、ラジウム泉の「大串温泉」「海釣り公園」などが点在します。



広大な敷地の園内随所に設けられた展望台からは瀬戸内海の多島美を満喫できる



屋島山上にある屋島寺



イダコのおでんが名物



さぬき市から国道11号を經由して屋島へ。定番の観光地ですが、やはり観光と史跡のロマンにあふれる屋島には、いつでも足が向いてしまいます。とりわけ「屋島山上水族館」は私たちのお気に入りスポット。可愛いイルカたちのダイナミックなアトラクションには、来るたびに歓声を上げてしまうのです。

▼屋島山上水族館／高松市屋島東町／087-841,2678／無休／9時～17時／入館1200円



2頭のイルカ、トムとエレナが立泳ぎ、背泳ぎ、倒立、さらには華麗なジャンプを見せるイルカショー



標高300mの山上にある水族館。ピアノやトムの演奏をこなす4頭のアンカも子供たちの人気の的

やっぱり屋島に来たら「瓦投げ」丸い輪の中に入ると何か願い事がかなうそう



うどんにうどんをいれ、と評判。家族うどん(2500円)は5〜8人前はたっぷりあります

香川に来たならやはり讃岐うどん、というわけで屋島山麓の「わら家」へ。建物は江戸時代の大きなわら家農家で、なんともいい雰囲気。もちろんうどんは香川県内でもどこか美味しさです。

▼わら家／高松市屋島中町／087-8433115／無休／10時～18時30分



5月にはホールもオープンし、いよいよ四国の表玄関としての都市機能が完成したサンポート高松全景



サンポート高松のシンボルタワーは文字通り新しい高松市のランドマーク。グルメにショッピングにと新しさいろいろ

次は話題のサンポート高松シンボルタワーへ。最新モードが集うショッピングゾーンは、いやや西日本でも屈指のおしゃれスポット。四国一の高さのタワー棟最上部の29・30階にあるレストランエリアからは、二十四時間眠らない高松港から本州までを一望する瀬戸内のスーパービューが手に取るように。いずれも「料理の鉄人」として有名な陳建一氏(中華料理)、中村孝明氏(日本料理)、石鍋裕氏(フランス料理)の三人が美味を競います。陳建一氏の「sechwan restaurant」のランチメニューは特に安くて美味しいと評判です。

▼sechwan restaurant 陳／087-8110477／11時～14時、17時～21時／ランチ1500円、ディナー5000円



20階の「sechwan restaurant」陳の店内からは高松市街が一望できます。



四川料理の技を駆使し、陳氏独自の料理と料理長の斬新なアイデアを織り交ぜた新感覚の中華料理です



これまで四国にはなかった本格的なラウンジバー「高松建築港」も大人気



眼下には、大槓、小槓の両島と船舶の往來の激しい槓ノ戸瀬戸。瀬戸大橋も一望できる五色台山上

高松市から岡山への帰途は風光明媚な五色台を經由して…。山上から見ると瀬戸大橋と瀬戸内の夕陽のコントラストは特に見事です。ちょうど坂出市と高松市との市境を縫うように南北に走るスカイラインを軽快にドライブ。スカイラインの途中から少し西に入ると、休暇村五色台があり、このあたりが夕刻のパノラマの絶好のビュースポット。あれこれ瀬戸内の景勝地を巡りましたが、どの風景も甲乙つけがたく美しかったです。みなさんも、ご自身のマイベストな瀬戸内をさがすドライブに出かけてみませんか。